

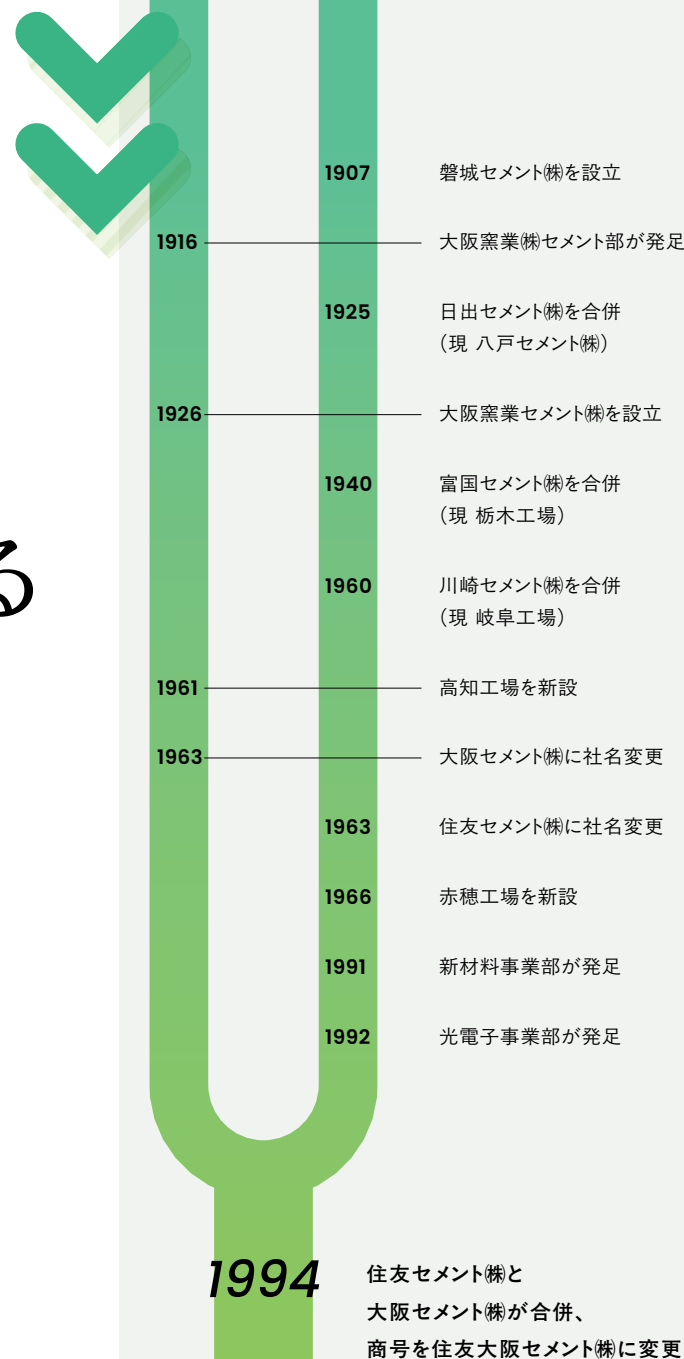
# 『環境解決』を軸に、 技術と素材の力で 社会課題の解決に挑み続ける

住友大阪セメントグループは、セメントの安定供給を通じて社会インフラの発展に貢献してきました。その歩みの中で培った技術や知見を基盤に、鉱産品、建材、高機能品などへと事業領域を拡大してきました。

更に近年はカーボンニュートラルや循環型社会の実現に向けた次世代技術の開発にも注力しています。社会課題が変化する中、「環境解決」を共通の基軸として、各事業の技術と素材の力を結集し、新たな価値の創出を通じて持続可能な社会の実現に貢献しています。 [Webサイト>沿革](https://www.soc.co.jp/company/history/) <https://www.soc.co.jp/company/history/>

## 社会インフラ整備と 循環型社会の実現に貢献

全国5つの工場と各地を結ぶ供給網を通じたセメントの安定供給に加え、周辺領域である鉱産品や建材へ事業を拡大し、社会インフラの整備に100年以上にわたり貢献してきました。また、セメント製造において培ってきた廃棄物の再資源化技術を活用し、循環型社会の実現に貢献しています。



## 価値創造のあゆみ

### 高機能品事業の始まりはセメントで培った技術から

セメント事業で培った無機材料技術と、蓄積された粉体制御のノウハウから高機能品事業は発展してきました。半導体製造装置用部品では微細加工や高電圧に対応する材料が求められますが、当社は約20年前から静電チャック市場に参入し、半導体製造装置メーカーとの共同開発を通じて、技術力を磨いてきました。こうした強みを基盤に高機能品事業の更なる成長と事業拡大に取り組んでいます。



## 培ってきた技術を活かし、 新たな素材の可能性を切り拓く



人工石灰石

### 人工石灰石の実用化に挑む

セメント工場から排出されるCO<sub>2</sub>と、廃棄物から抽出したカルシウム成分を原料とする人工石灰石（合成炭酸カルシウム）の製造・利活用に関する研究開発を推進しています。多量に排出されるCO<sub>2</sub>を資源として活用し、当社が長年培ってきた廃棄物の再資源化技術を組み合わせることを通じて、新たな事業の創出に挑んでいます。

1997

SiC（炭化ケイ素）製品  
量産工場を新設

2002

新規技術研究所  
「ナノ・テラ技術センター」を竣工

2009

バイオマス発電設備を竣工  
（栃木工場）

2010

ごみ焼却灰・ばいじんのセメント  
リサイクル事業を開始（赤穂工場）

2012

東日本大震災・広域災害廃棄物の  
受け入れ処理を開始

2020

2050年“カーボン  
ニュートラル”ビジョン  
「SOCN2050」を公表



2023

2035年へ向けた  
中長期ビジョン  
「SOC Vision2035」  
を公表



2026

セメント事業本部発足  
高機能品事業本部発足

SOC Vision  
2035の実現へ

## イントロダクション

## 住友大阪セメントの事業と技術

住友大阪セメントグループは、セメント事業、鉱産品事業、建材事業、高機能品事業を展開しています。社会インフラから先端技術分野まで幅広い領域で価値を提供し、「環境解決企業」をキーワードに、多様なものづくりとサービスを通じて社会課題の解決に取り組んでいます。



## セメント事業

各種セメント、固化材を製造・販売しています。高度な技術力と徹底した品質管理で社会のインフラ整備に貢献しています。製造過程でリサイクル品の受け入れを拡大するなど、循環型社会への貢献に積極的に取り組んでいます。

事業別概況 P.29



## 鉱産品事業

国内有数の規模を誇る良質で豊富な石灰石資源を活かし、工業用原料として、鉄鋼、化学、骨材、セメント原料など幅広い分野に石灰石を供給しています。

事業別概況 P.32



## 建材事業

国土強靱化施策に対応するあらゆるインフラ向け補修・補強材料を製造・販売しています。セメントで培った経験と技術力を結集し、関連会社との協働によって調査・診断～材料製造～現場施工までの一貫ソリューションを提供しています。

事業別概況 P.33



## 高機能品事業

独自のナノ粒子合成技術を駆使して、半導体製造装置などに採用される特殊な機能性粒子を使ったセラミックスのほか、化粧品材料、塗料、抗菌剤などの機能性材料を開発・製造・販売しています。また、最先端の光通信技術を活かし、LN変調器などを開発・製造・販売しています。

事業別概況 P.34



## その他事業

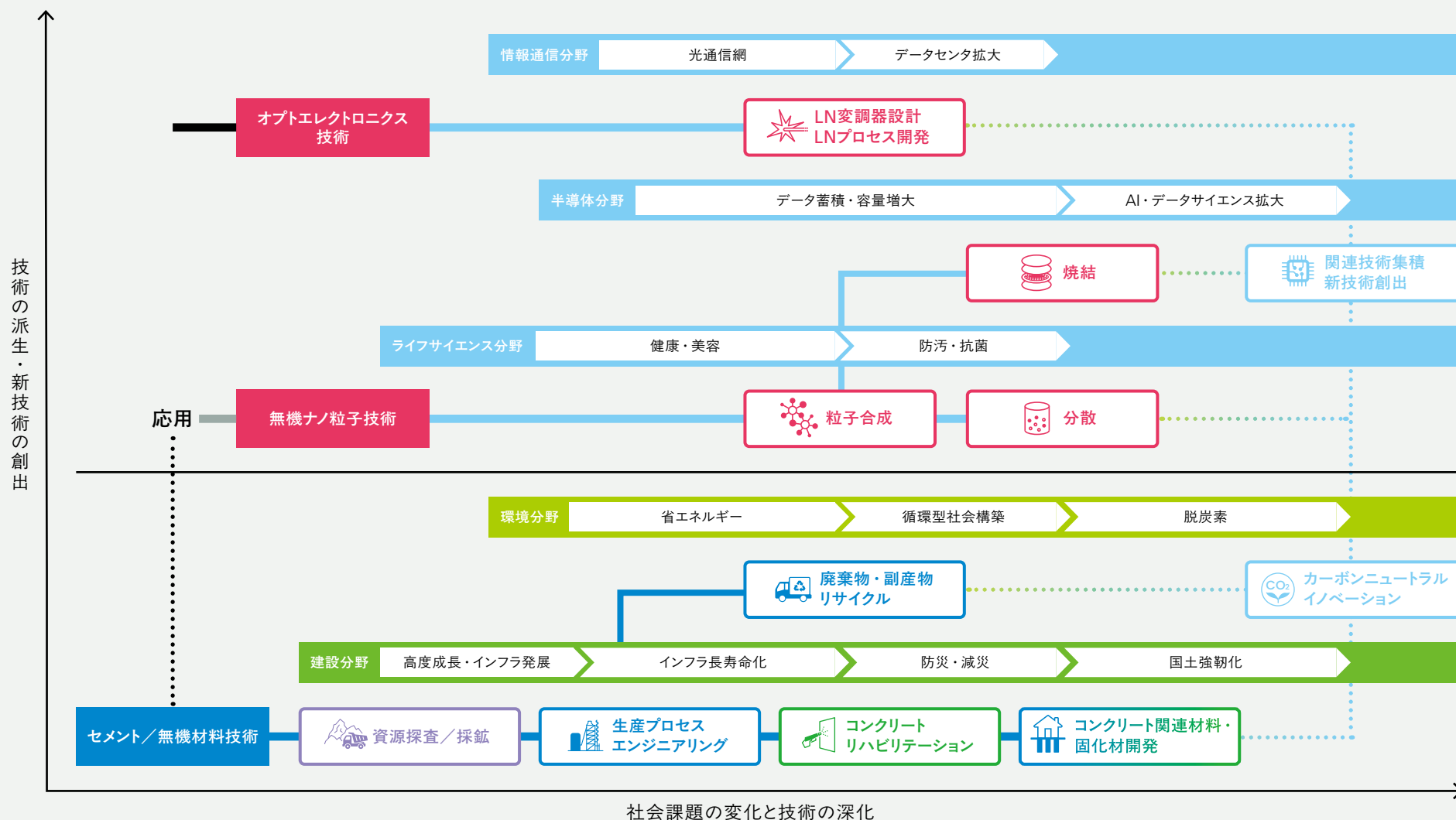
所有する遊休地を活用した不動産賃貸や情報処理サービスなどを行っています。

## 住友大阪セメントの事業と技術

## 住友大阪セメントの技術の変遷

当社グループは創業以来、独創技術を着実に培いながら、技術の応用等により事業領域を拡大し、関連する社会課題を解決しています。

長年、セメント製造プロセスで培ってきた技術が当社グループの成長の源泉となっています。



## 経営ダッシュボード (2025年度)

## 財務指標

売上高



2,237 億円

営業利益



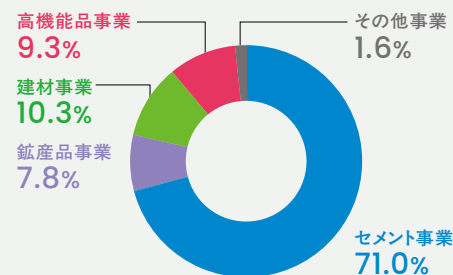
136.5 億円

総還元性向

62%  
(2023～25年度平均)

売上高構成比

(%)



ROE



5.8%

ROIC



3.3%

DEレシオ



0.44倍

## 非財務指標

社員数(連結)

3,045人

主要拠点数

国内20拠点 海外5拠点

グループ会社(子会社)

45社

セメント販売数量

国内697.1万t  
輸出137.5万t

特許保有件数

セメント687件  
高機能品1,268件

廃棄物・副産物使用 原単位

545kg/t-cement

温室効果ガス排出量(ネットCO<sub>2</sub>換算)6,903千t-CO<sub>2</sub>eq従業員エンゲージメント総合共感度\*1  
(2024年度)

64.8

女性管理職比率

3.7%

有給休暇取得率(労働組合員平均)

84.9%

男性の育児休業等取得率\*2

92.6%

取締役における独立役員の割合\*3

40%

\*1 エンゲージメントサーベイの回答者平均スコア。各設問に対する7段階回答の平均値を基に、100点満点に換算して算出。

\*2 育児休業などに加え、男性労働者を雇用する事業主が講ずる育児を目的とした休暇制度を利用した合計数の割合。

\*3 2026年6月25日現在

# 「SOC Vision2035」実現に向けて

「SOC Vision2035」とは、住友大阪セメントグループが2035年にありたい姿と、その実現に向けた成長の道筋を示す中長期ビジョンです。

セメント事業を取り巻く環境変化や脱炭素化の進展、半導体市場の成長が想定される中、当社グループは「環境解決企業」をキーワードに、循環型社会や脱炭素社会の実現、より良い生活環境の提供を通じて社会に貢献します。

目指す姿である「存在感のある会社」の実現に向け、差別化・独自スタイルの追求と脱石炭への挑戦を進めていきます。

## SOC Vision 2035

目指す姿：「存在感のある会社」

- 1 徹底した差別化・独自スタイルによる  
チャレンジャーとしての存在感
- 2 時代の要請に応えられる環境解決企業\*
- 3 脱石炭への挑戦

### 2035年度 目標数値

|      |         |
|------|---------|
| 売上高  | 4,000億円 |
| 営業利益 | 400億円以上 |
| ROE  | 10%以上   |
| ROIC | 6.5%以上  |

### 事業ポートフォリオ変革

|          |     |
|----------|-----|
| セメント事業   | 50% |
| セメント事業以外 | 50% |

※ 売上高ベース

2029-31年度  
環境解決企業としての  
ビジネスモデルの実行と拡張

2026-28年度  
事業ポートフォリオ  
変革推進

P.23

2023-25年度  
既存事業収益改善と  
成長基盤構築

\* SOCの環境解決企業とは

循環型社会・脱炭素社会実現に向けて、環境課題に対する解決策（製品、ソリューション）を提供する企業